



『幸せな時間』

造形展を控えたこの時期は、どのクラスでも一年間で一番、先生や友達との関係がとても良い感じになり、そして遊びや活動が成熟して、本当に子ども達の力が伸び上がってくる感じがして、どのクラスを見に行っても、私は何やら「嬉しさ」がこみ上げてくるのです。

「おはよう、ちょっと見せてもらっていいかな〜。」とクラスに入っていくと、何人もの子どもが、「あのな、あのな、こんな作ってん。」「これ、これ、これ見て。」と声をかけて寄ってきます。子どもたちの手の先には自分がお気に入りの作ったもの、前日描いたもの、色を塗ったばかりのものがあって、いつも順番にお話を聞くだけで私の小さな頭の容量はいっぱいになり、返す言葉を考えるだけで頭はショートして火花が出そうになるのですが、でも私にはこれほど楽しく、幸せな時間はありません。

先日見に行ったあるクラスでは、子どもたちが実験遊びで色々な絵の具やキラキラ光るラメを液体に混ぜて、硬める実験をしていて、そこにはたくさんの子供に見事に結晶化した不思議な透明の固形物が出来ていました。（それが、何かは造形展当日のお楽しみということで・・・）うお〜、これは面白いものが出来てるねえと感心していると、子どもたちが次々に来るわ、来るわ・・・。何人も、これはこうして、これとなにを混ぜて、それからこうしてと、もう説明したくて、言いたくてたまらない子たちが、わんさか私のところにやってきます。

こんな時、子どもたちの顔は、活動・遊びをやりきった達成感や、楽しかったなあ〜、ほんとに面白かったなあ〜という充実感、この面白さを誰かに伝えたいという強い思いに満ちていて、みんないい顔してるんです、本当に!!。

こういうのが、遊びきった時の子どもの『幸せ感』なんだろうと思うのです。そして、それを見ている私たち大人までも幸せになるのです。

乳幼児期の経験で何が大事ですか？って聞かれたら、まず私は、こういう遊びきった瞬間の『幸せ感』なんだろうといつも思います。立派な大人になるために、良い社会人になるために、いろいろなことを教え込んで、厳しく鍛えて、何かが出来るように我慢もいっぱいさせて、という思いで教育をする方も多いでしょう。そうした知識やスキルを身に付ける事、これも大切でしょうが、それは小中学校になってからコツコツと子どもが身に付けていけば良いことです。

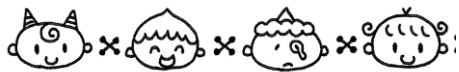
乳児から幼児期にかけては、それよりもこういう「あ〜面白いなあ。」「あ〜楽しい、楽しいなあ。」という遊びや活動に夢中になれる『幸せ感』、そして、先生や友達がお父さんやお母さんと一緒ぐらい大好きになって、いつも幼稚園でそばにいてくれて、一緒に遊びを考えたり工夫したり、あーだ、こーだと話し合っ、出来たーっ、すごーいって一緒に喜んでくれると、こんなにうれしいんだと心の底から感じる、そういう『うれしい』を心から感じる経験がどれだけ出来たかが、本当に、本当に大事なことです。

「幸せ」は我慢や辛抱の果てにあって、今頑張らないとおまへは幸せにはなれないぞと、子どもを脅すような大人がいますが、そんなに「幸せ」を先送りしてはいけません。子どもの時代、特に乳幼児の時代は、子どもは無条件に幸せでなければなりません。お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが大好きで、一緒にいるだけで安心できて、うれしくて、手をつないだり、抱っこしてもらっただけで子どもは無条件に幸せでいられます。そして、面白そうなものを見つけては、我を忘れるほど遊びに遊び込んで、子どもはさらに幸せでいられます。

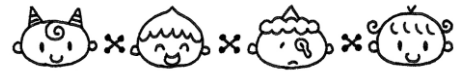
そういう『幸せ感』や『うれしさ』が、乳幼児期に心のど真ん中にどかんと根を張ると、それからの人生をしっかりと支えるのです。人はそれからの人生で色々な困難や課題があっても、頑張ってちゃんと乗り越えられるのです。悲しいことやしんどいことに打ちのめされそうになっても、乳幼児期の『幸せ感』があれば、人は甦れるのです。

昨日、一年間の中高校生の自殺者の数が過去最悪になっているとの報道を読みました。これほど悲しい現実はありません。私は、今子どもたちが心を病み、鬱に陥る原因に、乳幼児期からの『幸せ感』の希薄さがあったのではないかと考えています。うれしさや喜びを抑え込み、人の顔色ばかり窺って心をすり減らし、我慢や辛抱を強いられる子ども時代であってはなりません。

木の実の子たちが、今感じている『幸せ感』『うれしさ』という生きる喜び、この『幸せな時間』を、みんなで大事に、大事にこれからも育てていきましょう。園と保護者のみなさんと、手を取り合っって !!!



行 事 予 定



- 3 (月) 節分行事 鬼さん、福の神さんが幼稚園にやってきます。
- 12 (水) **お弁当日** お忘れのないようお願い致します。
- 13 (木) 午前保育 ※造形展準備の為、保育終了後の預かり保育は実施いたしません。
- 14 (金) 造形展 午後の部：ナースリー組・年少組
- 15 (土) 造形展 午前の部：年中組 / 午後の部：年長組
- 17 (月) 造形展の振替休日 幼稚園はお休みです。
- 26 (水) 新年度入園児 入園説明会 10時半～ (在園児の保育は通常通り行います。)

※2月下旬 身体測定を予定しております。



お 知 ら せ



☆造形展について

○2月14日 (金) 【午後】 13時～16時 → ナースリー組、年少組

○2月15日 (土) 【午前】 9時～12時 → 年中組

【午後】 13時～16時 → 年長組

※両日保育は行いません。

※今年度も造形展の参加、見学は自分のクラスを出来るだけゆったりと見学できるよう、園児本人のクラスを見学する時間を設定しております。先日配布しました案内をご覧ください。(他学年に兄弟姉妹がいらっしゃる場合は、いずれかの日程にまとめてご参加いただくことも可能です。)

※参加者の人数制限はありません。ただし、発熱や咳等体調不良の方の参加はご遠慮願います。

※自分のクラス以外は、時間制限もなく、ご自由に見学できます。

※入場の際は、防犯上、保護者証または事前にお配りする『入場許可シール』を必ずつけてご入場ください。

☆幼稚園を通じてバレンタインのプレゼント交換は禁止しております。ご協力下さい。